

# 日本レスリング選手の体格調査成績

—世界選手権優勝者および準優勝者  
の体格と比較して—

財団法人 日本体育協会  
東京オリンピック選手強化対策本部  
スポーツ科学研究委員会



# 日本レスリング選手の体格調査成績

## —世界選手権優勝者および準優勝者の体格と比較して—

スポーツ科学研究委員

横 堀 栄

共同研究者

中 村 常 弘

### 1. ま え が き

1961年アマチュア・レスリング世界選手権大会が横浜で開催された。この機会に最強チームとマークされたイラン選手14名、ソ連選手10名、トルコ選手17名、アメリカ選手12名について身体計測を実施した。測定項目は次のようである。

#### 1) 長育

身長、座高、前胴長、上肢長育(手長、上腕長、前腕長、上肢長)、下肢長育(大腿長、下腿長、下肢長)

#### 2) 量育

体重、皮脂厚

#### 3) 幅育

胸囲、上腕囲(伸展および屈曲)前腕囲、大腿囲

#### 4) 体型指数

Rohrer 指数、比体重、比胸囲、比上肢長、比下肢長

対照として、主として日本のローマ大会出場選手、1961年9月国立競技場において測定した日本一流選手の測定値をとつた。

被測定者の平均値をとつて比較するのは意義が小さいので、世界選手権優勝者または2位となつたものを現在におけるレスリングの理想体型と考え比較した。

フリー・スタイル Free style(腰から下にも上・下肢をかけてよい)とグレコローマン・スタイル Grecoroman style(腰から下に上・下肢をかけてはいけない)に分けた測定値は表1、表2、表3および表4のようである。表3および表4はスポー

ツ科学研究委員会 で1961年決定した「体力測定手引き」の計測項目によつた。

### 2. 調 査 成 績

#### 2.1. フリー・スタイル

##### 2.1.1. フライ級

世界選手権2位であつたイランのソルタニナジヤドと日本の松原選手(ローマ大会2位)の体型を比較すると次のようである。

1) ソルタニナジヤドは座高83.8cm、松原は86.5cmでかなり差がある。身長、体重、胸囲はほとんど等しい。

2) 上肢長はソルタニナジヤドが2.6cm長い。

3) ソルタニナジヤドは大腿長、下肢長も2cm大きい。したがつて前胴長は2cm短い。

4) 上腕囲は松原の方がややすぐれている。トルコのヤニルマス(第3位)は上肢が長い、上腕囲は松原に劣つている。アメリカのウイルソン(5位)は身長が高く、上肢および下肢長が上記選手より著しく長い。ローレル指数は125で、日本の普通人に近いが、筋肉が非常に発達している。

生出、梶川両選手も松原選手とほぼ同じ体型であるが、身長が1cm~1.4cm高く、上肢および下肢長がやや長い。

##### 2.1.2. バンタム級

世界選手権で1位をしめたイランのサフプール選手と日本の浅井選手(ローマ大会4位)を比較すると体格には次のような差がある。

1) サフプールの身長は浅井より4.7cmながい。

表 1 1961年世界レスリング選手権大会フリー・スタイル

国 籍	選 手 名	身 長	体 重	胸 囲	座 高	手 長	上 腕 長	前 腕 長	上 肢 長	
フ ラ イ 級 (52kg)										
日 本	松 原 正 之	ローマ大会 2 位	156.4	54.5	91.4	86.5	18.2	27.5	21.1	64.2
イ ラ ン	ソルタナナジャド	世界選手権 2 位	155.7	54.4	92.0	83.8	18.1	28.2	21.2	66.8
ト ル コ	ヤニルマス	同上 3 位	156.6	54.0	88.5	85.2	17.8	29.3	24.0	71.8
ア メ リ カ	ウイルソン	同上 5 位	161.6	52.6	90.0	82.2	18.3	31.1	22.7	71.4
バ ン タ ム 級 (57kg)										
日 本	浅 井 正	ローマ大会 4 位	160.8	58.8	91.0	90.5	17.5	31.1	20.5	68.0
イ ラ ン	サフプール	世界選手権 1 位	165.5	58.1	94.0	84.8	19.1	32.9	24.6	74.5
ト ル コ	アクバツシュ	同上 3 位	162.5	63.1	91.5	88.6	17.7	32.1	25.0	75.7
ア メ リ カ	モ リ ノ	同上 6 位	160.4	56.7	89.2	87.7	19.7	31.4	22.3	70.5
ラ イ ト 級 (67kg)										
日 本	阿 部 一 夫	ローマ大会 4 位	164.4	68.8	98.7	89.5	18.6	31.4	22.2	68.7
イ ラ ン	サナトカラ	世界選手権 1 位	171.4	68.0	100.0	90.8	20.0	32.7	26.2	77.1
ト ル コ	ダギスタンリ	同上失格	164.6	69.9	94.0	89.0	17.3	30.3	23.7	73.0
ア メ リ カ	ノースラツプ	同上失格	173.2	70.3	92.2	92.2	20.1	31.9	23.1	75.5
ウ エ ル タ ー 級 (73kg)										
日 本	兼 子 隆		172.8	74.0	103.0	94.8	19.0	30.8	24.8	73.6
イ ラ ン	ハ ビ ビ	世界選手権 1 位	173.7	73.9	98.7	92.9	20.6	33.5	25.6	77.6
ト ル コ	ア タ ラ イ	同上失格	169.2	72.1	98.5	90.6	18.4	30.5	26.0	77.4
ア メ リ カ	ベ リ ラ	同上失格	172.9	72.6	102.4	90.7	20.3	32.9	25.3	75.2
ミ ド ル 級 (79kg)										
日 本	永 井 隆	ローマ五輪出場	171.2	78.0	104.0	91.1	20.0	32.6	23.1	73.1
イ ラ ン	サバラバシ	世界選手権 1 位	183.6	79.8	105.5	94.9	20.3	34.9	28.0	82.1
ト ル コ	オーガン	同上 4 位	171.0	78.5	102.0	91.8	18.6	31.2	26.2	77.8
ア メ リ カ	カミラリ	失格	180.1	81.2	108.9	94.1	18.7	34.0	26.0	82.2
ラ イ ト ・ ヘ ビ ー 級 (87kg)										
日 本	川 野 俊 一	ローマ五輪出場	175.8	84.0	108.2	93.6	20.0	34.8	26.4	78.9
イ ラ ン	タ フ チ	世界選手権 1 位	178.8	88.5	107.9	93.5	20.5	34.9	28.3	81.0
ト ル コ	グ ン ゴ ール	同上 3 位	177.0	88.9	107.0	97.5	17.7	31.3	25.7	77.2
ア メ リ カ	ブ ラ ン ド	同上 4 位	197.7	91.2	107.0	102.1	19.6	31.7	30.5	85.3

## ル優勝者と日本選手（ローマ大会出場者）の体格の比較

大腿長	下腿長	下肢長	前胴長	上腕 最大囲	上腕 最小囲	前腕 最大囲	大腿 最大囲	下腿 最大囲	皮脂厚	ローラ ー指数	比体重	比胸囲	比座高	比上 肢長	比下 肢長
40.2	33.3	69.9	50.6	32.0	27.5	26.2	48.0	35.4	6.0	142	34.8	59.4	55.2	41.0	44.8
42.0	32.6	71.9	48.5	30.4	25.7	25.7	49.0	33.0	4.0	145	34.9	59.1	53.8	42.9	46.2
40.6	33.1	71.4	50.0	28.5	26.5	25.0	47.0	34.5	6.0	141	35.4	56.5	54.4	45.8	45.6
46.5	38.8	79.4	46.2	32.5	27.0	24.8	47.0	32.0	8.0	125	32.5	55.7	50.9	44.2	49.1
42.5	36.8	70.3	53.0	32.0	29.0	25.8	49.6	34.4	10.0	141	36.6	56.5	56.2	42.2	43.8
47.5	39.0	80.7	45.2	31.5	27.5	25.4	48.9	33.5	9.0	128	35.1	56.8	51.2	45.0	48.7
42.4	37.3	73.9	54.2	29.0	25.8	24.8	49.8	33.1	6.0	147	38.8	56.3	54.5	46.6	45.5
42.1	35.0	72.7	48.5	30.9	26.9	26.1	50.0	32.5	6.0	137	35.4	55.6	54.7	44.0	45.3
43.9	35.1	74.9	51.0	34.3	31.2	28.1	52.6	35.7	11.0	155	41.8	60.0	54.5	38.7	45.5
48.5	41.3	80.6	50.9	32.2	29.0	27.6	53.0	34.0	6.0	135	39.7	58.3	53.0	45.0	47.0
44.1	36.6	75.6	54.3	32.0	28.0	27.5	53.3	36.0	6.0	157	42.5	57.1	54.1	44.4	45.9
52.8	37.2	81.0	52.3	34.5	30.0	29.0	51.5	35.1	7.0	136	40.6	53.2	53.2	43.6	46.8
46.8	35.2	78.0	55.7	36.1	32.4	28.8	55.0	37.5	14.5	142	42.8	59.1	54.9	42.6	45.1
46.1	41.1	80.8	55.3	34.2	30.6	28.0	55.2	38.2	6.0	141	42.5	56.5	53.5	43.5	46.5
46.9	39.4	78.6	56.9	33.5	30.1	28.0	54.2	37.2	7.0	149	42.6	58.2	53.5	45.7	46.5
45.0	37.5	82.2	51.1	34.7	29.4	28.1	54.5	36.2	6.0	140	42.0	59.2	52.5	43.5	47.5
45.9	37.8	80.1	54.7	38.9	34.6	28.7	55.8	38.2	10.5	156	45.5	60.7	53.2	42.7	46.8
51.2	43.3	88.7	52.8	37.2	32.1	29.6	56.8	36.0	10.0	128	43.5	57.5	51.7	44.7	48.3
45.8	38.6	79.2	55.9	35.0	31.0	29.7	54.5	38.0	6.0	157	45.9	59.6	53.7	45.5	46.3
52.3	44.9	86.0	54.2	37.0	32.2	29.8	57.0	36.0	6.0	139	45.1	60.5	52.2	45.6	47.8
46.9	39.6	82.2	55.6	37.2	34.0	30.2	57.5	40.4	9.0	155	47.8	61.6	53.3	44.8	46.7
47.3	41.2	85.3	53.4	37.0	33.7	31.6	56.5	38.0	9.0	157	49.5	60.3	52.3	45.3	47.7
47.2	39.6	79.9	61.3	38.0	34.2	30.0	61.2	39.5	15.0	160	50.2	60.4	54.9	43.6	45.1
55.7	45.3	95.6	62.7	38.0	33.5	29.8	55.2	36.5	8.0	117	46.1	54.1	51.6	43.1	48.4

表 2 1961 世界レスリング選手権大会ダレコロ・ローマン・スタイル優勝者と日本選手（ローマ大会出場者）の体格の比較

国籍	選手名	身長	体重	胸囲	座高	手長	上腕長	前腕長	上肢長	大腿長	下腿長	前脚長	上腕最大囲	上腕最小囲	前腕最大囲	前腕最小囲	大腿最大囲	大腿最小囲	下腿最大囲	下腿最小囲	皮脂厚	ローラ指数	比体重	比胸囲	比坐高	比上肢長	比下肢長
日本	市口政光	160.5	58.3	91.0	84.6	18.9	32.3	25.0	73.8	43.1	35.9	75.9	49.8	31.8	28.0	26.5	50.2	34.5	7.6	141.36	3.56	7.52	7.46	0.47	3.3		
ソ連	カラバエフ	156.8	57.0	92.0	84.6	18.7	30.1	21.7	67.9	42.3	33.2	72.2	50.1	30.7	27.0	48.0	33.0	6.0	147.36	4.58	7.54	0.43	3.46	0.0			
イラシ	ラヤビ	161.3	60.8	94.8	85.2	19.5	30.1	26.1	73.0	43.3	37.6	76.1	48.7	32.0	29.6	49.7	33.5	7.0	144.37	4.58	7.45	0.47	2.2				
トルコ	オスデソ	162.1	63.5	91.8	84.2	16.5	30.1	24.9	72.7	44.0	38.2	77.9	50.8	29.8	26.5	49.0	34.5	5.0	149.39	4.56	6.51	0.44	8.48	1.1			
ライト級 (67kg)																											
日本	北村光治	163.2	73.1	101.0	90.0	19.5	31.8	23.1	73.0	42.4	35.0	73.2	53.7	34.9	31.5	29.1	55.3	38.4	11.0	169.44	8.62	0.55	0.44	7.45	0.0		
ソ連	コリゼ	166.5	73.0	101.0	89.4	18.5	32.0	23.8	73.0	46.1	35.0	77.5	50.3	35.7	32.4	28.8	54.8	36.5	10.0	158.43	8.60	0.53	0.43	8.46	5.5		
トルコ	ドーガン	169.5	68.0	94.0	90.1	17.4	30.9	22.3	73.3	47.0	36.7	79.4	55.5	34.2	28.9	27.7	52.3	35.0	10.0	140.40	1.55	0.53	0.43	2.43	2.2		
イラシ	エブラヒミアン	170.4	68.0	96.0	87.5	19.0	33.2	25.0	76.2	47.0	38.6	82.9	51.7	33.7	28.7	27.5	54.0	34.7	5.0	137.39	9.56	0.35	0.44	7.48	7.7		
アメリカ	ロドリゲス	164.2	66.2	99.5	89.1	19.4	32.2	23.5	73.8	43.5	35.1	75.1	49.7	33.6	29.5	28.3	51.6	35.5	8.0	150.40	3.60	6.54	0.44	9.45	7.7		
ミドル級 (79kg)																											
日本	青海上	173.4	79.2	103.0	89.8	19.0	33.3	23.9	75.4	46.2	36.2	73.6	51.8	33.2	32.6	29.4	56.0	37.8	14.0	152.45	6.59	0.51	0.48	0.48	3.3		
ソ連	ゼニン	178.0	85.0	105.0	95.2	20.5	34.2	25.6	78.1	52.0	37.0	82.8	57.1	35.2	30.7	30.8	58.0	41.3	10.0	151.47	8.59	0.53	0.43	9.46	5.5		
トルコ	ペイラツク	170.1	84.8	105.0	94.0	16.7	32.5	24.4	77.0	54.1	38.6	76.1	58.7	35.2	31.1	28.4	62.1	38.9	10.0	173.49	9.61	0.75	0.35	3.44	7.7		
ヘビー級 (87kg)																											
日本	重岡定治	176.8	94.0	106.0	95.4	19.6	34.5	27.5	79.2	47.0	38.7	81.4	55.2	39.8	34.5	30.0	61.0	42.7	21.0	172.54	7.62	0.55	0.46	0.44	6.6		
ソ連	ボグダン	185.0	111.0	117.0	97.7	24.0	36.1	27.1	81.0	53.0	41.8	87.8	58.3	41.0	38.0	33.4	65.4	43.2	21.0	172.59	8.63	0.52	0.43	7.47	3.3		

表 3 日本レスリング選手の体格 フリースタイル (1961年9月測定)

選手名	身長	体重	胸囲	座高	上肢長	下肢長	上腕 伸展位	前腕 屈位	大腿圍	大腿圍	下腿圍	皮脂厚	ローラ 一指數	比体重	比胸圍	比座高	比上 肢長	比下 肢長
フ ラ イ 級																		
生出正男	157.4	55.5	88.5	87.1	65.2	70.3	28.6	32.7	25.5	52.0	38.4	7.0	142	35.0	56.2	55.3	41.4	44.6
梶川雅史	158.8	56.5	91.0	89.5	71.0	69.3	27.6	30.8	25.0	50.6	35.1	10.0	141	35.5	57.3	56.3	44.8	43.6
バ ン タ ム 級																		
風間貞勝	164.7	58.0	88.5	93.2	68.3	71.5	28.5	32.5	26.3	53.0	35.1	5.0	129	35.2	53.7	56.6	41.5	43.4
金子正明	170.7	63.0	92.7	93.5	75.4	77.2	27.6	30.5	24.7	53.0	34.9	10.0	127	36.9	54.3	54.8	44.2	45.2
フ エ ザ ー 級																		
渡辺長武	157.8	66.5	99.9	89.2	67.0	68.6	31.0	35.1	28.0	57.2	37.5	9.0	169	42.2	63.3	56.5	42.5	43.5
佐藤多美治	160.0	68.5	94.5	90.5	68.5	69.5	30.2	35.4	27.2	54.6	36.5	8.0	167	42.8	59.1	56.6	42.8	43.4
小畑武二	167.2	63.5	96.5	89.2	74.1	78.0	28.0	33.0	26.5	53.2	35.0	8.0	136	38.0	57.7	53.3	44.3	46.7
ラ イ ト 級																		
川口恭三	161.0	70.5	99.0	90.0	70.2	71.0	32.0	36.5	27.7	54.6	39.0	6.0	169	43.8	61.5	55.9	43.8	44.1
阿部一男	165.7	69.0	96.2	91.0	72.5	74.7	31.9	34.7	27.1	55.4	36.2	10.0	152	40.1	58.1	54.9	42.5	45.1
ウ エ ル タ ー 級																		
井川三千男	175.2	73.5	98.2	95.0	76.5	80.2	29.5	34.2	27.5	53.0	40.0	8.0	137	42.0	56.1	54.3	43.7	45.8
中島治郎	170.2	73.5	100.7	93.5	77.5	76.7	29.2	35.2	27.9	58.8	37.0	8.0	148	43.2	59.1	54.9	45.5	45.1
ミ ド ル 級																		
石川忠男	171.9	79.0	101.9	94.6	76.6	77.3	31.0	35.6	29.0	56.2	38.6	7.0	155	46.0	59.3	55.0	45.0	45.0
綾部公博	169.5	77.0	107.5	89.1	73.8	80.4	34.9	36.6	30.7	59.3	39.8	7.0	158	45.4	63.4	52.6	43.5	47.4
風間貞夫	174.3	76.5	99.5	94.7	74.5	79.6	29.4	34.1	28.2	55.6	39.1	6.0	144	43.9	57.0	54.3	42.7	45.7
田代俊郎	173.8	78.0	96.9	95.6	77.0	78.2	30.5	36.1	28.5	55.9	38.4	7.0	148	44.9	55.8	55.0	44.3	45.0
ラ イ ト ・ ヘ ビ ー 級																		
浦田昇	175.3	87.0	106.5	96.0	78.0	79.3	32.0	38.5	30.0	62.1	41.6	14.0	161	49.0	60.7	54.8	44.5	45.2

表 4 日本レスリング選手の体格グロモーマン型 (1961年9月測定)

選手名	身長	体重	胸囲	座高	上肢長	下肢長	上肢長 伸展位	上腕 屈展位	腕 位	前腕囲	大腿囲	下腿囲	下腿囲 皮厚	ローラ ー指数	比体重	比胸囲	比座高	比上肢長	比下肢長
フ ラ イ 級																			
花原勉	158.9	57.0	90.5	90.0	68.0	68.9	27.5	32.1	26.2	50.7	35.2	35.2	11.0	142	35.9	57.0	56.6	42.8	43.3
バ ン タ ム 級																			
伴義孝	164.2	59.0	93.2	92.0	72.4	72.2	29.1	33.1	25.6	52.0	33.7	33.7	7.0	134	35.9	56.7	56.0	44.1	44.0
桜間幸次	156.0	57.0	94.6	84.4	70.8	71.6	28.5	32.5	25.6	52.1	34.5	34.5	9.0	150	36.5	66.1	54.1	45.4	45.9
フ エ ザ ー 級																			
高比良政利	164.3	63.0	95.0	89.2	70.0	75.1	29.6	32.9	26.3	51.1	35.6	35.6	7.0	142	38.3	57.8	54.3	42.6	45.7
藤田徳明	160.9	66.5	94.5	91.0	71.3	69.9	29.2	34.5	27.8	56.4	37.0	37.0	12.0	159	41.3	58.7	56.5	44.3	43.4
ラ イ ト 級																			
沢内敏行	166.4	70.0	95.8	92.6	71.2	73.8	29.9	34.9	38.4	57.5	37.9	37.9	11.0	152	42.1	57.6	55.6	42.8	44.3
増田輝雄	169.4	70.0	94.8	92.0	74.3	77.4	30.0	35.5	27.8	54.5	38.8	38.8	5.0	144	41.3	56.0	54.3	43.9	45.7

2) サフプールは上腕, 前腕ともに長い。上腕囲は浅井に劣る。上肢長は浅井より 6.5cm も長い。

3) サフプールは大腿長, 下腿長もともに長く, 下肢長は浅井より 10.4cm も長い。したがって, 胸長は浅井より 7.8cm も短い。比下肢長も 4.9 の大差がある。

4) サフプールのローレル指数は 128, 比体重 35.1, 比胸囲 56.8, 比上肢長 45.0 で体型指数<sup>2)3)</sup>, からみて, 日本の陸上跳躍選手に近い体型で, これまでの日本レスリング選手の体型と全然違った体型である。

トルコのアクバツシュ (3位) は浅井に近い体型であるが, 上肢がはるかに長い。アメリカのモリノ (6位) は浅井に近い体型であるがやや劣っている。風間, 金子は浅井より身長, 上肢長, 下肢長がながくローラー指数もほとんどサフプールに近い体型である。

### 2.1.3. フェザー級

外国選手中優勝者ソ連のルバシユビリについては計測できなかった。

日本選手では 4 位となつた佐藤が体型的に均齊がとれ, 渡辺は短軀であり, 小畑は佐藤より 7.2 cm 長身であり, ローラー指数も 136 で小さく, 下肢長が長かつた。

### 2.1.4. ライト級

世界選手権で 1 位をしめたイランのサナトカラン選手と日本の阿部選手を比較すると次のようである。

1) サナトカランの身長は 171.4cm, 阿部は 164.4cm で 7cm の大差がある。

2) サナトカランは下腿長と大腿長が長い。下肢長として 6.2cm の差がある。

3) サナトカランは手長, 上腕長, 前腕長 (阿部より 4cm ながい) が長く, 上肢長として 8.4 cm, 両手を拡げると 16.8cm の大差となる。

4) サナトカランは上腕最大囲, 最小囲とも阿部より 2cm 小さい。大腿囲と下腿囲は差がない。

5) サナトカランの皮脂厚は 6.0mm で, 阿部の 11mm に比較して薄い。

6) サナトカランのローラー指数は 135 で, 阿部の 155 より小さく, 日本の陸上競技選手に近い。比体重, 比胸囲, 比座高は小さいが, 比上肢



長 45.0 で阿部の 38.7 より著しく大きい。比下肢長も大きい。

トルコのダキスタンリは阿部に似た体型であるが、上肢がかなり長い。

アメリカのノースラップはサナトカランに似た体型である。胸囲その他上半身の発達がわるく、上肢がやや短い。

川口は阿部よりさらにズングリ型でローラー指数は 169, 比体重 43.8 である。上肢, 下肢はさらに短い。

### 2.1.5. ウエルター級

世界選手権で 1 位をしめたイランのハビビと兼子 (3 位) を比較すると次のようである。

1) 兼子の胸囲は 103cm でハビビの 98.7cm より 4.3cm 大きい。これは兼子の腹部皮脂厚が 14.5 mm, ハビビ選手は 6.0mm で大差があることも関係している。

2) ハビビは上腕長, 前腕長は兼子よりも長く, 上肢長として 4cm ながい。

3) ハビビは大腿長, 下腿長 (5.9cm もながい), 下肢長がながい。

4) ハビビの上腕最大囲は 34.2cm で兼子の方が 2cm 大きい。

5) 体型的にハビビは比上肢長, 比下肢長が大きく比胸囲, 比座高は小さい。

トルコのアタライは兼子選手に近い体型であるが, やや上肢長が長い。アメリカのベリラはハビビに似た体型であるが, さらに上肢が長い。

井川, 中島も兼子に似た体型であるが, 井川は兼子より身長が大きくローラー指数も小さい。中島は兼子よりややズングリ型である。

### 2.1.6. ミドル級

ミドル級優勝者サバラバンと永井を比較すると次のようである。

1) サバラバンの身長は 183.6cm, 永井は 171.2 cm で 12.4cm の大差がある。

2) サバラバンは特に上腕長, 前腕長が大きく, 永井と上肢長で 9cm の大差がある。

3) サバラバンは大腿長, 下腿長がながく, 下肢長では永井より 8.6cm ながい。

4) サバラバンの上腕屈曲囲 37.2cm, 伸展囲 32.1cm で永井の 38.9cm, 34.6cm より小さい。

5) サバラバンのローラー指数 128, 比体重

43.5 は永井の 156, 45.5 より低い。サバラバンの体型は陸上競技選手の体型に近い。

石川, 綾部, 風間, 田代らの体型は永井によく似ている。

### 2.1.7. ライト・ヘビー級

優勝者のイランのタフチと川野を比較すると次のようである。

1) タフチの身長 178.8cm, 体重 88.5kg は川野の身長 175.8cm, 体重 84.0kg より大きい。

2) タフチの前腕長, 上肢長は川野よりやく 2 cm おおきい。

3) タフチの下腿長は長く, 下肢長として 3.1 cm ながい。

4) 上腕, 前腕および大腿などの最大囲は両者においてあまり差がない。

5) 皮脂厚は差がない。ローラー指数, 比体重, 比上肢長はタフチの方が充実している。比下肢長はタフチが大きい。

浦田の体格は川野に似ている。トルコのグンコール (第 3 位) はタフチに似た体型であるが, 上肢と下肢がタフチより短い。皮脂厚は厚い。アメリカのブランド (第 4 位) は身長が 197.7cm で著しく高い。ローラー指数は 117 で小さく, 日本のバスケット選手のセンターに近い体型で, 比体重, 比胸囲, 比座高が小さい。四肢が著しく長い。

## 2.2. グレコ・ローマン型

### 2.2.1. バンタム級

世界選手権で 1 位となつたソ連のカラバエフと市口の体格を比較すると次のようである。

1) カラバエフの身長は 156.8cm で市口の 160.5cm より 2.7cm 低い。

2) 胸囲, 上肢および下肢のすべての計測値において市口の方がわずかにおおきい。

3) カラバエフの体型指数をみるとローラー指数, 比体重, 比胸囲, 比座高ともに市口より大きい。比上肢長, 比下肢長は市口より小さい。

伴は身長, 四肢が市口よりややながい。桜間はカラバエフに非常によく似た体型で, 各測定値もほとんど同じである。

イランのラヤビ (4 位), トルコのオスデン (6 位) も市口とほとんど同体型である。

### 2.2.2. フェザー級

世界選手権優勝者アラブ連合のモスタファア, 第

2位のトルコのイルマスについては計測できなかった。

日本の高比良は長身で下肢がながく皮脂厚はうすいが、藤田は高比良より3.4cm身長が低く、体重は重く皮脂厚は5mmもあつい。したがってローラー指数は高比良の14に対し藤田は159である。

### 2.2.3. ライト級

世界選手権で1位となつたコリーゼと北村の体型を比較すると次のようである。

1) コリーゼは身長166.5cmで北村の163.2cmより3.3cmおおきい。

2) コリーゼの大腿長は北村より3.7cmながい。下肢長もながい。したがって胴長は3.4cm短い。

3) 体型をみると北村は体重73kgでオーバーウエイトのため、ローラー指数は169で比体重、比胸囲もコリーゼより大きく、動きがにぶくなるおそれがある。

沢内、増田はコリーゼに近い体型であるが上半身の発達がやや劣る。

トルコのドガン(5位)、イランのエブラヒミアン(6位)は身長が6~7cm高い。下肢長、上肢長もながい。

### 2.2.4. ミドル級

世界選手権1位のソ連ゼニンと青海を比較すると次のようである。

1) ゼニンの身長は178.0cm、青海は173.4cmで4.6cmの差がある。

2) ゼニンは上腕長、前腕長、上肢長のどれもが青海より長い。大腿長、下肢長もながい。

3) ゼニンの上腕最大囲は35.2cmで青海より3cm小さい。青海の皮脂厚は14mmで、ゼニンの10mmより大きい。

4) ゼニンの大腿囲は58cm、下腿囲41.3cmでよく発達している。

トルコのペイラツクはやや小柄であるが、四肢は青海より長い。

### 2.2.5. ヘビー級

世界選手権1位となつたソ連のボグダンと重岡を比較すると次のようである。

1) ボグダンの身長は185cm、重岡は176.8cmで、8.2cmの差がある。体重は17kg、胸囲10.8

cmの差がある。ボグダンに体格で匹敵させるためには柏戸級(身長188cm、体重127kg)の体格が必要である。

2) ボグダンの手長、上腕長も重岡より長い。とくに大腿長、下腿長に差があり、下肢長で6.4cmの大差がある。

3) ボグダンの屈位上腕囲41cm、大腿囲65.4cmは重岡に比べて著しく発達している。

4) 体型的にローラー指数は両者とも172ではほぼ等しく力士なみであるが、ボグダンの比体重は59.8で大きい。比下肢長はボグダンが著しく大きい。皮脂厚は両者とも21mmで運動選手としては非常に厚い。

## 3. む す び

1961年度アマチュア・レスリング世界選手権大会に出場し、フリー・スタイルで優勝または2位をしいたイラン選手6名、グレコ・ローマン型で優勝したソ連選手4名を中心として、ローマ大会出場日本選手および1961年9月国立競技場で計測した日本一流選手と比較して、次の結果を得た。

1) フリー・スタイルで優勝したイラン選手は日本選手に比較して、身長が高い。上肢長、下肢長がながく、胴は短い。幅育はあまり違わない。上腕囲は日本選手の方がおおきいことが多い。体型からみると日本選手のズングリ、短脚長胴型に対して、イラン選手は長脚短胴型である。

バンタム級優勝者サフプール、ライト級優勝者サナトカラン、ミドル級優勝者サバラバシなどの体型は日本のレスリング選手の体型と非常に違い、トレーニングのすすんだ陸上競技選手に近い体型である。

トルコ選手は体型的に日本人に似ている。ただ上肢が日本選手よりやや長い。アメリカ選手は四肢がさらに長く、ライト・ヘビー級のブランド選手は、バスケット選手のような体型をしめしている。

2) グレコ・ローマン型ではソ連選手が優勢であつた。

バンタム級優勝者カラバエフは身長わずかに156.8cmで日本選手より低い。胸廓、四肢も小さいが、トレーニングのすすんだ体型である。ソ連

選手は日本選手より下肢は長いが、上肢はそれほど差がない。

ライト級、ミドル級、ヘビー級と体重の増加につれて日本選手の脂肪が付きすぎている。優勝者ミドル級ゼニン、ヘビー級ボグダンと比較すると体型的に著しく日本選手は劣っている。

イラン、ソ連選手には体型的にも<sup>5)</sup>基礎体力の充実がみられ、むだのない筋肉体型 Mesomorph を示している。

アメリカ選手のスピーディな動きは、陸上競技型の体型によるものと思われる。日本のレスリング選手にはこれまで相撲や柔道型の選手が多かったが、強烈なタックル、敏捷性、スタミナの必要性から考え、今後選手の体型も考慮する必要がある。以上から日本レスリング選手は体型的にみて、軽量級はソ連、イランなどの一流選手に劣ら

ない。中量級以上とくに重量級の選手は体格が一段と劣り、基礎体力の充実が必要と思われる。

#### 文 献

- 1) 横堀 栄：スポーツマンの形態学的適性について、日本体育協会、スポーツ科学研究委員会報告、9頁、1961
- 2) 横堀 栄他：スポーツマンの体型について、体育の科学7巻5号、197頁、1957
- 3) 横堀 栄：アジア競技大会選手の体格と体型について、体育の科学、8巻8号、338頁、1958
- 4) 木佐森恒雄：オリンピックローマ大会に出場した代表的日本選手の身体的機能について、体力科学、10巻、1号、12頁、1960
- 5) 白井伊三郎：世界レスリング選手権大会に出場した優秀な外国選手の体勢について、Olympia, No. 9, 8頁、1961





